



急病のときの対応

けいれん・ふるえ



#7119番で
症状の相談 p.29

- けいれんが止まっても意識がはっきりしない。
(目が合わない。お父さん、お母さんが分からない。)
- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い。
- けいれんが5分以上続く。
- 何度もくり返しけいれんが起きる。

1つでも
該当



**119番
救急車を呼ぶ!**

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



該当
しない

- はじめてのけいれん。
- 生後6か月未満。
- 6歳以上。
- けいれん時、体温が38.0℃
以下であった。
- けいれんに左右差がある。
- おう吐、おもらしをとまなう。
- 最近(1か月以内に)頭をぶつけた
ことがある。

1つ以上
「はら」が

**お子様の様子を見つつ、診療時間になってから
かかりつけの先生に診てもらってください。**
(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患
診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は、休日急患診療所や
救急医療機関を受診してください。

1つも
「はら」がない

家庭での対処方法

- ①顔を横向けにして、衣類をゆるめましょう。
- ②体を揺すったり、たたいたりしないようにしましょう。
- ③口の中に指、物をいれてはいけません。

- ※すでに診断がついており、今までに何度か起こったことがあるけいれん発作(てんかん)。
- ※けいれんかどうか分からない。
- ※左右対称のけいれんが数分でおさまり、けいれんのあと短時間で意識を回復し、その後いつもと変わらない。